

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度 第1回 朝霞市立図書館協議会	
開 催 日 時	令和4年8月3日(水) 午前10時00分～午前11時08分	
開 催 場 所	朝霞市立図書館 視聴覚室	
出 席 者	出席委員5名（茂木静枝会長、有永克司副会長、三好正浩委員、藤岡弘美委員、原浩明委員） 欠席委員2名（石川敬史委員、黒川滋委員） 事務局9名（神頭部長、鈴木館長、辻主幹、三田専門員、齊藤係長、安藤係長、猪股主査、北岡主査、戸塚主査）	
会 議 内 容	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 （1）令和3年度事業報告について （2）令和4年度事業計画について （3）第3次朝霞市立図書館サービス基本計画（令和3年度実績報告） （4）第2次朝霞市子ども読書活動推進計画（令和3年度実績報告） 4 閉 会	
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・朝霞市立図書館協議会委員名簿 ・令和4年度第1回朝霞市立図書館協議会次第 ・令和3年度事業報告（資料1） ・令和4年度事業計画（資料2） ・第3次朝霞市立図書館サービス基本計画（令和3年度実績報告）（資料3） ・第2次朝霞市子ども読書活動推進計画（令和3年度実績報告）（資料4） 	
会 議 録 の 作 成 方 針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後__か月の保存期間
会議録の確認方法 出席委員による確認		
そ の 他 の 必 要 事 項	傍聴者なし	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

茂木会長） 議題（1）令和3年度事業報告について事務局より説明をお願いします。

齊藤係長） それでは、議題の1点目令和3年度事業報告について御報告いたします。

はじめに、資料1-1令和3年度事業報告を御覧ください。

令和3年度は、施設改修工事のため9月から令和4年2月までの6か月間、本館を休館とさせていただきました。

また、事業運営につきましては、引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止を講じ、一部制限をしながらの開館、事業を実施いたしました。やむなく中止とした事業もありました。実施事業につきましても、検温と手指消毒の実施、参加人数を制限し、事前申込制としたため、以前と比べて参加者が減少している事業もあります。

1番目の「おとなの朗読会」は、令和2年度は中止といたしましたが、本館のリニューアルオープンに合わせ、3月に新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら実施し、27人に参加していただきました。

次に、2番目の「青少年対象講座」は、青少年向けの講座を通じて、本に親しむ機会を提供することを目的に行っている事業で、令和3年度は「体験しよう！ボードゲームの世界」を実施しました。この講座は、令和2年度に企画し、緊急事態宣言による中止を経て、改めて開催したもので、7人の参加者がありました。

3番目の「児童文化講座」は、大人を対象に、子どもの成長に読書が果たす役割や本と出会うことの大切さなどを伝え、子どもの読書の推進を図るため実施しております。令和3年度は、本館のリニューアルオープン記念として、動物画家藪内正幸氏の原画展と、藪内正幸美術館の館長で御子息の藪内竜太氏による講演会や、藪内正幸氏の絵本の読み聞かせを実施しました。

次の「プレママ・パパ絵本講座」は、赤ちゃんがお腹にいる時から話しかけ、読み聞かせを行うことで、親子のきずなを深めていくこと、また読み聞かせの楽しさや大切さを、実演を交えながら伝えていくことを目的に実施するもので、この後の「ブック・スタート」や「赤ちゃん和妈妈・パパのおはなしタイム」に継続していくよう考えております。7月10日（土）に実施し、4人の妊婦と家族が参加されました。

「ブック・スタート」事業は、保健センターで毎月実施される乳幼児の4か月健診時に、図書館職員やブック・スタートボランティアがメッセージを伝えながら絵本をプレゼントし、絵本を通して親子のふれあいを大切

にさせていただくとともに、図書館の利用促進をPRしております。令和3年度につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、絵本の読み聞かせ等ができないことから、絵本と共に読み聞かせについての説明書をお渡しいたしました。実施回数は24回、1,167組の参加がありました。

ページ最後の、「赤ちゃんとママ・パパのおはなしタイム」は、ブック・スタートのフォローアップを目的に行っている事業で、22回実施し、62組延べ134人の参加がありました。

2ページ1番目の「うさみみタイム」は、毎週木曜日、職員による絵本の読み聞かせや紙芝居等を実施し、子どもの読書の推進を図るものです。例年、読み聞かせの後に子供向け映画の上映を実施しておりますが、令和3年度は、感染防止対策として中止といたしました。なお、読み聞かせは、長期休館中も中央公民館で実施し、令和3年度は、24回実施し延べ136人の参加がありました。

次の「子ども読書の日お楽しみおはなし会」は、子ども読書の日的前後に、読書のきっかけ作りを目的に実施し、昨年度は、4月29日の祝日に実施、10人の参加がありました。例年は、児童文学を原作とした映画会を上映していましたが、コロナ対策のためお話し会に変更して実施いたしました。

次の「夏休みおはなし会」は、主に日頃参加のない小学生を対象に、夏休みに入った7月22日（木）午後を開催し、12人の参加をいただきました。

次の「クリスマスおはなし会」は、クリスマスに関連した絵本の読み聞かせを行い、本への興味を広げ、子どもの読書と図書館利用の促進を図ることを目的に実施しているもので、28人の参加がありました。

次の「シネマ・ライブラリー」、「ティーンズ・シネマ」、「子ども読書の日おたのしみ映画会」、「夏休みこども映画会」は、換気などの感染症対策が難しいため、中止といたしました。

3ページ目の「図書館まつり」は、6月26日（土）、27日（日）に開催し、延べ1,587人の御来場をいただきました。主な内容といたしましては、展示や人形劇などの発表・催し物を行いました。

次に「らいぶらりコンサート」は、コロナ対策のため、5月29日（土）と30日（日）の2部制で実施し、延べ168人の御来場をいただきました。

次の「図書館本館リニューアルオープン記念事業本の福袋」は、タイトルも内容も分からない状況で本を借りることで、本への興味や読書の幅を広げ、図書館利用の促進を図るもので、昨年度は新年特別企画として実施したものです。貸し出し冊数は562冊、貸出率は98.3%でした。昨年度は、はじめて、複数の本を入れることを試みました。

次の「書庫見学ツアー」は、図書館業務の解説を行うとともに、普段入

ることのできない書庫を見学してもらうもので、夏休みの8月10日には、午前中に小学生、午後の中・高校生を対象として開催し、20人が参加しました。8月27日には、成人向けに開催し、12人に参加していただきました。

最後の「図書館利用者懇談会」は、コロナ対策の観点や、改修工事による長期休館とそれに伴うリニューアル開館準備等により中止といたしました。

次に、分館から事業報告をいたします。

三田専門員) 続きまして、北朝霞分館の事業報告でございます。

資料1-1の4ページを御覧ください。

まず、「えんじょいきっず」につきましては、小学3年生から6年生の児童に、図書館の仕事を体験することで、本に興味を持ってもらうことを目的に実施しております。

例年、夏休み期間中に実施しており、令和3年度は、当初4回予定しておりましたが、8月25日は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止となり、3回で延べ10人の児童に御参加いただきました。

次に「名画THE分館」につきましては、8月23日に実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止とさせていただきます。

次に「春休みキッズシネマ」につきましては、3月30日に、「レオ・レオニ5つの名作集」などを上映し、子どもと大人を合わせて82人の方に御参加をいただきました。こうした児童映画の上映を通じて、本を読むきっかけにいただき、図書館の利用促進につなげるものでございます。

最後に「絵本のよみきかせ」につきましては、毎月第3火曜日に、ボランティアグループのおはなしの木の皆さんの御協力により、実施しているものです。4月から9月は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止とさせていただきますが、10月から事前申込制で参加人数を20人に制限して再開し、3月まで6回実施し、延べ76人の方に御参加いただきました。

説明は以上でございます。

茂木会長) ただいま、事務局から説明がありましたが、何か御意見や御質問はございますか。

有永委員) 「赤ちゃんとママ・パパのお話タイム」ですが、4月と8月は参加なしのため中止とあります。月2回実施しますと20回となりますが、報告では22回となっていますが。

辻主幹) 改修工事期間中に、中央公民館児童室で開催しておりますので、合わせて22回となっております。

茂木会長) よろしいでしょうか。

その他に特になければ、議題(1)令和3年度事業報告について終了させていただきます。

それでは、資料1-2令和3年度図書館利用状況について事務局より説明をお願いします。

齊藤係長) 資料1-2令和3年度図書館利用状況を御覧ください。

1番目「貸出人数」を御覧ください。

WEB分を含め、図書館本館が11万9,399人、分館7万4,151人、公民館5館の合計で3万2,224人、総計22万5,774人で、前年度と比較して、2万528人、10%の増となっております。

2番目「貸出冊数」を御覧ください。

WEB分を含め、図書館本館が33万7,392冊、分館27万8,070冊、公民館5館の合計で10万5,672冊、総計72万1,134冊で、前年度と比較して、4万2,702冊、6.3%の増となっております。

次に、2ページの1番目「登録者数」を御覧ください。

図書館本館が1,778人、分館944人、公民館5館の合計で271人、総計2,993人で、前年度と比較して、397人、15.3%の増となっております。

2番目「予約点数」を御覧ください。

WEB分を含め、図書館本館が16万7,736冊、分館1万2,716冊、公民館5館の合計で2,962冊、総計18万3,414冊で、前年度と比較して、2万2,609冊、14.1パーセントの増となっております。

3ページ目の「開館日」を御覧ください。

図書館本館が290日、分館が318日、公民館5館の合計で1,417日、総計2,025日で、前年度と比較して、245日、13.8%の増となっております。

最後に、図書館本館の「実来館者数」を御覧下さい。

令和3年度は15万2,816人、前年度と比較して、3万1,670人、17.2%の減となっております。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館や制限付き開館とした令和2年度と比べ、全体としてどの項目も増加となっております。

なお、その中で、図書館本館につきましては、改修工事に伴い6か月間休館としたため、貸出人数、貸出点数、実来館者数が減少しています。

以上が、令和3年度事業報告でございます。

茂木会長) ただいま、事務局から説明がありましたが、何か御意見や御質問はございますか。

よろしいでしょうか。

次に、議題(2) 令和4年度事業計画について事務局より説明をお願いします。

齊藤係長) それでは、議題の2点目令和4年度事業計画について御説明いたします。

1 ページ目。一般成人対象の「おとなの朗読会」と青少年対象の「青少年対象講座」は各年間1回の実施を予定しています。

次からの児童関係事業につきましては、「児童文化講座」と「プレママ・パパ絵本講座」は各年間1回。「ブック・スタート」事業は、毎月2回、年間で24回。「赤ちゃんとママ・パパのおはなしタイム」は、月1回、年間12回。「うさみみタイム」は、毎週木曜日の午後、年間48回。

2 ページ目。「子ども読書の日おたのしみおはなし会」は、5月5日に実施。「夏休みおはなし会」は、7月28日の午前、午後に分けて実施。「クリスマスおはなし会」は、12月に1回実施を予定しています。

その下、映画会をまとめて載せてあります。

「シネマ・ライブラリー」は、一般成人向け映画を年5回程度。「ティーンズ・シネマ」は、主に中高校生向けに年3回実施の予定です。子ども向け映画としては、「子ども読書の日おたのしみ映画会」を子ども読書の日(4月23日)前後に、「夏休みこども映画会」を夏休み期間に実施を予定していましたが、コロナの感染対策上、視聴覚室の換気が課題となっており、既に一部中止となっております。今後は、状況を見ながら実施したいと考えております。

次の「図書館まつり」は、6月25・26日(土・日)に開催。また、「らいぶらりコンサート」は5月29日(日)に開催しております。

「本の福袋」、「書庫見学ツアー」、「図書館利用者懇談会」につきましても、例年通り実施の予定です。

次に、分館の令和4年度事業報告を御説明いたします。

三田専門員) 続きまして、北朝霞分館の事業計画でございます。

資料2の3ページを御覧ください。

今年度は、前年度と同様の事業を計画しております。

「えんじょいきっず」は、夏休み期間中の8月に予定しており、募集16名に対して19名の応募があり、選考はせずに19名全員に御参加いただきます。第1回目は、明日4日となっております。

また、大人向けの映画会の「名画THE分館」を8月21日に篠田正浩

監督「少年時代」上映する予定です。

子ども向けの映画会の「キッズシネマ」を10月10日に実施する予定となっております。例年3月に実施しておりますが、産業文化センターのホールが改修工事のため、利用できないので日程を前倒しております。

「絵本のおよみかせ」は、毎月第3火曜日に実施しております。今年度は、既に4回実施し、子どもと大人を合わせて39人に参加しております。以上でございます。

茂木会長) ただいま、事務局から説明がありましたが、何か御意見や御質問はございますか。

よろしいでしょうか。

コロナ禍のため中止する事業が出てくるのが心配ですが、今後、計画されました事業の実施をお願いします。

特になければ、議題(2)令和4年度事業計画について終了させていただきます。

次に、議題(3)第3次朝霞市立図書館サービス基本計画(令和3年度実績報告)について事務局より説明をお願いします。

猪股主査) それでは、第3次朝霞市立図書館サービス基本計画(令和3年度実績報告)について説明いたします。

第3次朝霞市立図書館サービス基本計画では、計画の進行管理を行うため、体系目標ごとに評価指標を設定し、毎年度自己評価を実施し、達成に努めていくこととしています。

評価につきましては、本資料の3ページに記した基準に基づくものとしています。

Aにつきましては、目標に対する実績が80%以上の場合。Bにつきましては、目標に対する実績が60%以上80%未満の場合。Cにつきましては、目標に対する実績が60%未満の場合という設定で、評価をしております。

それでは、1 計画的な資料収集と蔵書構成の充実でございます。

令和3年度においては、目標値51万5,000点に対して、実績値51万6,093点で、目標に対する実績が100.2%でした。評価としてはAサービスの充実が図られているとしました。

続きまして、2 資料・情報提供サービスの充実でございます。

当初の計画では、本館のみの数値としていましたが、報告では、本館、分館のレファレンス件数を合算した数値として、改めております。

令和3年度目標値572件に対して実績は197件で 目標に対する実績は34.4%でしたので、評価はCとしました。新型コロナウイルス感染症に関する臨時休館やレファレンスサービスの縮小、令和3年度においては、本館改修工事による休館の影響が考えられます。

続いて、2ページ目、3多様な利用者に応じた図書館サービスの充実で
ございます。

はじめに、指標①子ども一人当たりの児童書数です。

令和3年度の児童書蔵書数16万2,276点、令和3年度末の15歳ま
での児童数20,514人でした。

児童数で按分すると、16万2,276割る2万514人は7.91と
なり、児童一人当たりでは、目標値7.80点に対して実績7.91点の
ため、目標に対する実績は101.4%、評価としてはAとしました。

次に、指標②貸出密度です。

資料の訂正をお願いします。令和2年度の実績が4.7、令和3年度の
実績が5.0に改めさせていただきます。

それでは、令和3年度においては、貸出点数72万1,134割る14
万3,926人(令和3年度末人口)は5.01約5.0となり、目標に
対する実績が80.6%のため、評価はAとしています。

続いて、4図書館の効率的・効果的な運営です。

司書資格保有率です。令和3年度においては、職員数20人に対して令
和3年度司書職員数7人でしたので35%になります。目標値30%に
対する実績35%でしたので、目標に対する実績は116%のため、評価は
Aとしました。

茂木会長) ただいま、事務局から説明がありました。何か御意見や御質
問はございますか。

藤岡委員) 2資料・情報提供サービスの充実の評価がサービスの充実が望
まれるとありますが、評価に対しての改善点や改善案、それに対するアク
ションはありますか。

辻主幹) 図書館の大切な仕事の一つとして、レファレンスが上げられます。

令和元年度は、毎日レファレンスカウンターに職員が入り受付をしていま
した。コロナ禍の影響で、令和2年度、3年度は繁忙期の土日のみ対応し
ました。

平日については、必要に応じて貸出カウンターの職員から声をかけてもら
い、事務室内の職員がレファレンスに対応しております。このため、数が
少なくなっていました。

改善策としては、今後コロナ禍が落ち着き通常の業務に戻れば、レファレン
スカウンターに人の配置を戻して行きたいと思います。

また、令和3年度は、半年間、工事の関係で図書館が休館となったことも
大きく影響したものと考えております。

有永委員) コロナ禍の制限や改修工事の休みを考慮して、この数字を判断

すると、通常でやっていたらこの数字は何%達成できたのでしょうかね。

辻主幹) 令和2年度は、4月当初から53日間、全面休館しており、その後も、ブラウジングは御遠慮いただいております、レファレンスはできない状態でした。

令和3年度に入って少しずつ制限を緩和していき、土日に関しては、今は通常どおりの対応で、夏休みは朝から大入りですので、体感としては令和元年度並みのサービスは継続できているものと思っています。

半年間、本館を休みにしたことで皆さんの目が分館や地区公民館に向けて、分館もかなりいい所だと評価され、かなり利用者が増えております。

そういうことも含めて、充実させていければ良いと思います。

有永委員) こういう評価をシートに載せるたびに、反省したり、対応したりするのですか。

辻主幹) あくまでも、このような事情はありますが、シートの中の数字はCランクです。体感としては、平常並み。気持ち的にはAランクを付けたいが、数字的にはCランクです。客観的評価として必要だと考えています。

有永委員) 評価はABCだけではなくて、補足でこういうことが考えられるとかあってもよいかと思います。

茂木会長) 数字で表すとこうなってしまうんですね。

藤岡委員) 背景が聞けましたのでよかったです。

コロナ禍で感染対策が難しいのであれば、WEBでのやり取りでもレファレンスの件数は上がります。

聞く側にしても、ある程度の事前のやり取りがあって、実際にお会いして資料を集められるのは非常に助かるのかなと思いますので要望します。

辻主幹) 実際に、メールでやり取りさせていただいたことが何度かありますので、参考にさせていただきます。

茂木会長) 他に、ございませんか。

その他になければ、議題(3)第3次朝霞市立図書館サービス基本計画(令和3年度実績報告)について終了させていただきます。

次に、議題(4)第2次朝霞市子ども読書活動推進計画(令和3年度実績報告)について事務局より説明をお願いします。

猪股主査) 資料4、第2次朝霞市子ども読書活動推進計画(令和3年度実

績報告) について説明いたします。

第2次計画では、基本目標ごとに評価指標を設定し、毎年度自己評価を実施し、達成に努めることとしています。

また、関係課、関係機関においては、基本目標を踏まえ、実施計画を策定し、毎年度自己評価を行い達成に努めることとします。

第2次計画の進捗状況及びその成果については、朝霞市立図書館協議会及び朝霞市子ども読書活動推進連絡会に報告するとともに、評価及び意見を求めるものとしていることから、本協議会において、資料4として報告させていただきました。

資料4として、この度報告させていただいている資料につきましては、7月26日に開催された令和4年度第1回朝霞市子ども読書活動推進連絡会にて、関係課・関係機関がそれぞれ報告したものを連絡会にて確認したものを配布させていただいております。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、事業の中止、縮小等の影響が令和2年度に引続き令和3年度もありました。しかしながら、それぞれの機関において、感染症防止策を図りながら、可能な限り事業を再開したところがございます。

このような状況ではありますが、おおむね目標に沿い事業を進めているものと認識しています。

最終ページをお開きください。

不読率推移についてでございます。

計画目標を平成28年度のアンケート実施時の小学生の不読率5.4%を令和3年度には4%以下に、中学生・高校生の不読率16.8%を令和3年度には12%以下に、計画に決めました。

最終年度の令和3年度においては、小学生16.1%、中学生・高校生33.7%となり、目標値には及びませんでした。

以上の実績報告については、図書館協議会后、図書館ホームページにおいて公表する予定です。

茂木会長) ただいま、事務局から説明がありましたが、何か御意見や御質問はございますか。

有永委員) WEBで見ることができますか。

猪股主査) はい、公開しております。

茂木会長) よろしいでしょうか。

その他に特になければ議題(4)第2次朝霞市子ども読書活動推進計画(令和3年度実績報告)について終了させていただきます。

次に、その他について、有永委員から説明があります。

有永委員) プリント2枚を配らせていただきました。

不読率の目標を達成してるところは、国、各県、東京都でもありません。うまく行っている事業体がありましてので、紹介させていただきます。

最初に、(1) 公共図書館と学校図書館との連携が必要ではないのでしょうか。

(2) 公共図書館による学校図書館サポート。

朝霞市は人口増加で生徒数が増えており、第八小学校1, 200人、第五、第六小学校も間もなく1, 000人のマンモス校となります。学校図書館も十分な対応ができなくなると予想されるので、連携して子供たちが図書に親しむ環境づくりをしていけばよいと思いました。

司書同士の交流として研修会を行う。公共図書館司書が学校へ行きアドバイスをする。標準冊数の達成、課題の把握、選書アドバイスなどを話し合う。

また、公立図書館から学校へ定期的に配本を1回数百冊、年に3、4回入れ替えするところもあります。既に行っていますが、除籍予定の本を優先して学校へ渡すのもよいかと思えます。

次に、北海道北広島市の取り組みを紹介します。

公共図書館と学校との連携を密に行っています。人口6万弱で、小学校一人当たりの年間貸出数31.6冊(平成29年)です。

フロアワークボランティアを募集し、講習を受け、返本や書架整理、OPACの利用案内などをします。司書への橋渡をします。市民のニーズを把握し市民が支える図書館として行っています。

それに加え、学校図書センターを設立。市の職員、委託職員、学校司書、まちなか司書で構成。学校図書館のネットワークを構築しまして、図書の一元管理、図書購入、相互貸出、端末機器の導入、学校司書の巡回派遣、小学校や保育施設を回るまちなか司書の巡回派遣をします。また、学校図書リクエストとして選書リストから子どもたちが選んだものを購入します。

児童図書学校巡回事業「豆次郎」。学級文庫のように学級ごとに40冊入った本の箱を届ける。1か月で別のクラスの本と交換する。3か月たつと学校ごと本を入れ替える。生徒は常に新しい本に接し、授業の合間読書や朝読に利用されています。

もし、これを朝霞市が行った場合は、小学生7,600人に12を掛けて年間貸出点数は9万1,000点です。書庫はそのままで蔵書も増えません。不読率も確実に下がる利点があります。

もう一つ、家読パック「こつぶ」。これは、保育施設へ送迎に来る保護者に渡すというやり方です。

図書館に行く時間が取れない家族に合わせた本を数冊パックにし、専用バックに入れて渡す。絵本と家族のリクエスト本を司書が選び、事前に図

書館で貸出した本の受け渡しをする。直接受け渡しは難しいので、司書が用意したバックをセルフで持ち帰るようにしている。

これらを実現するには、ボランティアの養成が重要になってくると思う。図書館は、人と人を結び付ける場所でもあるので、ボランティアを募集して養成することが重要になってくる。

志木図書館では、図書館サポーターと図書館パートナーズの2種類を募集しております。図書館サポーターは、書架整理、配架、CD・DVDの確認視聴をする。図書館パートナーズは、図書館事業の企画及び運営、Facebookで企画の告知・報告をします。

本年度の事業計画を見ても、子供向けがほとんどで、前回黒川委員が言っておられましたけど、大人向けが非常に少ない。市民の人が企画して、行ってもらえば大人向けが充実してくる。

和光市の方も、図書館サポーターを募集してしまして、事業の企画及び運営、除籍資料のリサイクルの準備及び受付、団体貸出業務の補助、図書館資料のカバー掛け及び修理、図書館内の装飾及び美化もやっています。これらを活用すれば、図書館としての活動の広がりもでてくる。

朝霞市は人口が増える。学校はマンモス化する。それなりのことを考えていかないと大変だと思います。公民館図書館は、貸出冊数が減っています。もともと冊数が少なくて魅力がない。試しに、図書館の本の入れ替えを行ってみて、どのくらい効果があるのかやってみたらいいと思う。

毎日300冊入れ替えている図書館がある。入れ替えも大変なので、ばかっと思って行き、図書館本館コーナーを設ける。そういう、ノウハウをやっていけば北広島市のような豆次郎につながっていくと思いました。

茂木会長) ありがとうございます。

これが実現するとすごいことになるなと思いました。

まず、人手がない。一遍にはなくて、朝霞市にできそうなことから取り組んでいただく。

人手を求める。ボランティアで可能ということではなくて、予算がつかないと動けないところもありますので、事務局の方ができそうなところから始めていただければ思っております。

貴重な資料となりますので、御検討いただければと思います。

有永委員) 学校と図書館の現状はどうですか。

三好委員) 図書館から廃棄となります本をいただき活用しております。

学校自体が5階建てで、2階から4階が教室、5階が図書室となります。なかなか行き来しづらいのですが、昨年度より今年度の方が貸出数は増えております。

これには訳がございまして、子供たちが本に触れ合う環境を整えたため

で、司書教諭とサポーターが連携を取りながら進めています。

原委員) 高校生の不読率50%は新しい数字ですね。

高校生は、動画・ネットで読んだり調べたりします。高校生は、図書館よりは自習室を必要としているのですね。

どこの図書館もやっていると思うのですが、図書館を若者に利用させるためには自習室が必要ですね。

茂木会長) ありがとうございます。

他に何かございますか。

その他に事務局から連絡事項等、何かありましたらお願いします。

安藤係長) 今後の協議会の予定です。

次回の協議会は2月を予定しています。詳細につきましては、時期がきましたらお知らせします。

茂木会長) 特に他にないようであれば、これで本日提案された事項については、すべて承認することといたします。

以上で本日の議事はすべて終了いたします。